

Faculty of Economics Kagawa University

学部構成

経済学部は「経済学科」「経営システム学科」「地域社会システム学科」の3学科からなります。各学科に昼間および夜間主コースを開設し、時代の要請に応えた斬新な教育・研究をおこなっています。各学科では、学習の目的にあわせた履修が可能となっており、経済学科では「経済理論コース」「政策・制度コース」「統計・情報コース」、経営システム学科では「企業・社会コース」「組織・戦略コース」「会計コース」、地域社会システム学科では「国際社会文化コース」「ツーリズムコース」が開設されています。学生はそれぞれの興味・関心にあわせて、これらのコースを構成する講義を履修し、各専門分野の知識を体系的に学習します。また夜間主においては、各学科にまたがる「総合経済コース」が開設されており、経済に関する知識を総合的に学べる体制が整っています。なお、本学部では、より高度な研究・教育のための大学院経済学研究科と、教員、学生の研究活動をサポートする経済研究所を設置し、教育・研究面の施設を充実させています。

教育理念

経済学部は前身である官立高松高等商業学校創立以来、地域に根ざし、実学を重んずる校風を培ってきました。こうした伝統を継承しながら、つねに社会と時代の新たな要請に応えるべく、進取の気象と共生の精神をもって現代社会に立ち向かってゆきます。
また、四国における唯一の国立大学法人経済学部として、社会科学の教育・研究の拠点としての役割を果たしてゆきます。

教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる人材を育成します。

専門分野に対する優れた能力

課題を発見し探究するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには、実務的な処理能力をかねそなえている必要があります。理論と応用が有機的に結合した、実行力のある人材を育てます。

経済人としての幅広い視野

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野に立ち、コミュニケーション能力をそなえ、社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

情報を分析し発信する能力

今日の社会は、複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信することができるようにします。

学科・コースによる教育課程

入学時	1年次	2年次	3年次	4年次
経済学科	●基礎ゼミナール	経済理論コース		→
	●情報処理基礎	政策・制度コース		→
		統計・情報コース		→
経営システム学科	●全学共通科目	企業・社会コース	演習の選択	卒業論文 →
	●学部基礎科目	組織・戦略コース		→
		会計コース		→
地域社会システム学科	●学科基礎科目	国際社会文化コース		→
	●短期海外研修	ツーリズムコース		→

必修科目

情報処理基礎、演習、卒業論文

学部基礎科目

経済学概論、経済数学基礎、統計学I、経営学概論、経営戦略論、簿記原理、近代経済史、観光学概論、基礎ゼミナール、ミクロ経済学I、マクロ経済学I、プロゼミナール

